

1. アカエゾマツ林の成長と土壤条件

1. 試験担当者

北海道支場造林部土壤研究室長 原 田 洋ほか

2. 試験目的

従来トドマツ林の土壤条件については、系統だつた調査研究がおこなわれ、トドマツの適地判定技術の向上に役立つてきたが、アカエゾマツ林については断片的に1~2の調査がおこなわれただけである。アカエゾマツは環境条件の良好な所に成立したものはトドマツに匹敵するよい生長を示し、さらにトドマツにくらべると特異な環境条件下にも耐えて生長する木である。

一方、アカエゾマツ林の土壤にはボドソル化したものが多い。今後アカエゾマツの造林面積は年々拡大されるものと思われる所以アカエゾマツ林の生長と土壤の諸条件を解明した適地判定の資料を得る。

3. 昭和45年度の経過とえられた結果

1. 北見林務署所管道有林において、BD型崩積土に造林された38年生のアカエゾ林と、それに隣接するトドマツ林を調査した。44年度調査の4林分(余市、北見、積津署管内)に比し、成長が良く、むしろトドマツを僅か上まわっていた。試料分析中
2. 44年度調査4林分の試料分析を完了し、とりまとめ、林学会で発表した。

4. 昭和46年度の試験計画

1. 弟子屈署管内で調査する。比較のため例年どおり、近傍根似立地のトドマツ人工林も調査するが、本年度は土壤に対する影響を明きらかにするため、それぞれ林分別に調査林分を選ぶ。
2. 45年度調査した北見地区の試料分析を完了し、とりまとめ。